

感染症科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	感染制御部専従薬剤師による血液培養採取啓発が届出対象抗菌薬の処方と血液培養採取に及ぼす影響
研究機関の長（試料・情報の管理責任者）	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	（所属）臨床感染症学講座 （職名）教授 （氏名）三嶋廣繁
研究の対象となる方	2021年11月から2025年8月までに当院で入院され、タゾバクタム/ピペラシリン・メロペネム・イミペネム/シラスタチン・ドリペネム・タゾバクタム/セフトロザン・イミペネム/シラスタチン/レレバクタム・コリスチン・チゲサイクリン・バンコマイシン・テイコプラニン・リネゾリド・テジゾリド・ダプトマイシン・アルベカシン・レボフロキサシン・ラスクフロキサシン・シプロフロキサシン・パズフロキサシンのいずれかを投与された患者さん
研究期間	研究実施承認日 ～ 2026年3月31日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 当院では2022年4月から、感染制御部専従薬剤師は、届出抗菌薬が使用された患者さんに血液培養が採取されたか確認を行い、採取されていない場合は主治医に採取を促しています。この血液培養採取の啓発活動が血液培養採取率に及ぼす影響について調査します。 〔利用方法〕 電子カルテを用いて血液培養の採取率および陽性率、抗菌薬使用量を収集します。啓発活動の前後で採取率、陽性率、抗菌薬使用量が変化したか否か統計解析を用いて比較します。 〔外部への試料・情報の提供〕 非該当 〔外部への提供開始日〕 非該当
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：電子カルテを用いて、血液培養採取率、陽性率、抗菌薬使用量などを収集
提供する試料・情報を用いる学外の研究	非該当

責任者	
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、 2026 年 2 月 28 日 までにメールにより下記問い合わせ先まで申し出てください。 shibata.yuuichi.414@mail.aichi-med-u.ac.jp
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 薬剤部 担当者：（職名）薬剤師 （氏名）柴田 祐一 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線：34253）